

男女共同参画で増やす家族の「笑顔」

「ファミリースマイルUP!」の作成

キーワード：ワーク・ライフ・バランス、イクメン、カジダン、ケアメン、イクメン

活動の内容 ～男性の家庭・地域生活への参画啓発冊子の作成～

主に20歳代から40歳代の男性を対象に、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の大切さを理解し、男性の家事・育児・介護などの家庭生活や地域生活への積極的な参画を推進する冊子「ファミリースマイルUP!」を平成24年9月に作成しました。



活動のきっかけや目的 ～滋賀県の現状から～

(1) 統計データから

県民意識調査（平成21年度・滋賀県）の結果によると、男性も女性も仕事と家事・育児・介護等の家庭生活を同時に重視したいとの希望が高いものの、男性の多くは仕事を優先し、女性の多くは家庭生活を優先している状況です。また、労働環境等実態調査（平成22年度・滋賀県）における「夫婦間での家事等の分担状況」の結果をみても、90.0%の夫婦は、妻の方が家事等を多く担っており（「ほとんど妻が担っている」(55.2%)と「夫も担っているが、妻の方が多い」(34.8%)の合計）、男性の家庭生活への参画が進んでいない状況となっています。

さらに、本県では、出産・子育て期に離職する女性が多く、女性の労働力率の30歳代の落ち込み度合いが全国と比較して深くなっています。

出産・子育て期にあっても女性が働き続けるためには、職場環境や保育環境の整備が重要であるとともに、男性が仕事と生活の調和を実現し、家庭生活や地域生活への参画を進めていくことが必要です。

(2) 「ファザリング全国フォーラム in しが」をきっかけに

県内をはじめ全国から5,300人が参加者した父親の育児参画を考える初の全国フォーラム「ファザリング全国フォーラム in しが」（平成24年2月）の開催により、県内で男性の家事育児参画への関心が高まったことをきっかけに、実践の広がりや周囲の理解・協力促進につながるよう啓発冊子を作成することとしました。



「ファミリースマイルUP!」P3-4



「ファミリースマイルUP!」P7-8

ポイント ～実践のきっかけとなるために～

- ・ 手に取りやすくコンパクトなサイズ（A5 12ページ）で、写真を多く使って読みやすい内容にしました。
- ・ 気軽に実践してもらえる内容として“Let's Challenge”の項目を設けました。
- ・ 家事（カジダン）や育児（イクメン）だけでなく、介護（ケアメン）や地域活動（イキメン）への参画の重要性も取り上げました。
- ・ 公共施設だけでなく、コンビニや大型商業施設など男性が気軽に立ち寄る場所で配布しました。
- ・ 実践のイメージをしやすいよう「男性の家事・育児参画フォトコンテスト」入賞作品の展示にあわせた配布も行いました。

活動の成果と今後の展開

「この冊子を読んで料理に挑戦し始めた」という男性の声や「この冊子を夫に見せてイクメンになってもらう」という女性からの声が寄せられるなど男性の実践のきっかけになっていることを感じます。今後も、市町の父親教室や母親教室等での配布や子育て関連施設での配布など子育て世帯への重点的な啓発をしていきます。また、引き続き「男性の家事・育児参画フォトコンテスト」を実施し、実践の広がりにつなげていきます。

一方、男女共同参画審議会においてもテーマを「男性にとっての男女共同参画」とし、「男性の視点」から男女共同参画を捉え、男性の理解を促進し、男性の生きやすい社会を形成するための効果的な施策を検討していく予定です。



平成 24 年度フォトコンテスト【カジダン部門】最優秀賞



同左【イクメン部門】最優秀賞

その他 ～担当者の声～

私自身2児の父親であるのですが、ファザーリング全国フォーラム開催業務や当該啓発冊子の作成等を通じて、子育てや家事に対する意識が変わり、実際に3ヶ月間の育児休業を取得させていただきました。

男性の意識を変えれば、家庭や地域での活躍の場は多いはずですが、まずは、担当者や担当部署の男性職員自身が率先して家事・育児・介護・地域活動に取り組み、その実践の輪をそれぞれの地域に広げていってはいかががでしょうか＼(^o^)/

名称	滋賀県
事業開始年	平成 24 年度
概要	男性の家庭・地域生活への参画啓発冊子の作成
ホームページ	http://www.pref.shiga.lg.jp/c/danjo/index.html
連絡先	滋賀県総合政策部男女共同参画課 TEL : 077-528-3071 FAX : 077-528-48077 E-mail : ct00@pref.shiga.lg.jp